

今後の投資協定締結候補国に関する調査研究

(報告書の概要)

近年の海外直接投資の世界的な増加及び日本企業の対外進出の拡大によって、我が国において投資協定による投資制度の安定化や環境整備の必要性が指摘されている。これを背景に、本調査では、我が国にとって投資協定締結の優先度が高い国や地域について産業界のニーズを調査し、実際に交渉を行うにあたって必要となる法的材料を整理・分析することを目的として、文献等による情報収集及び国内でのインタビュー調査を実施した。調査に当たって、日本企業の投資実績、産業界の関心等複数の項目から投資協定候補国となる調査対象国を選定し、各国の投資関連法制度の現状について情報収集及び整理・分析を行った。また、各国が締結している既存の投資協定及び投資に関する紛争事例についても整理した。さらに、これらの分析を踏まえ今後の投資協定締結の促進に向けて、投資協定の重要性及び投資協定以外の枠組みの活用について検討した。

(報告書の主要構成)

- (1) 調査研究の趣旨・手法
- (2) 投資協定締結候補国の投資関連法制度
 - ①投資協定締結候補国の投資関連法制度
 - ②対象国・候補国全般情報マトリクス
- (3) 投資協定締結候補国の投資協定分析
 - ①カザフスタン
 - ②カタール
 - ③UAE
 - ④南アフリカ
 - ⑤コロンビア
- (4) 各国のICSID判例分析
- (5) 今後の投資協定締結に向けて
 - ①投資協定の重要性
 - ②投資協定以外の枠組みの活用